2020年度上期決算説明会

新型コロナウイルスへの対応と
2020年度上期活動実績

2020年8月7日

横浜ゴム株式会社

代表取締役社長　山石昌孝

目次

1. 新型コロナウイルスへの対応と上期活動実績

2. 下期以降の取り組み

1. 新型コロナウイルスへの対応と上期活動実績

2. 下期以降の取り組み

2020年上期の主要マーケット状況

GD 2020

- 外出自粛などの移動制限や
  企業活動・消費の停滞から、各地域で景気減速

- グローバルで販売および生産に影響

Copyright(C) THE YOKOHAMA RUBBER CO., LTD.

工場稼動状況：タイヤ海外工場

GD 2020

■タイヤ　中国・フィリピン・北米では行政指導により一時操業停止、生産に大きく影響。現在は徐々に稼動再開

	1月	2月	3月	4月	5月	6月
フィリピン			3/18-4/8 行政指導 操業停止	4/8-5/15 行政指導のもと 一部ラインを稼動		
中国		2/3-2/17 行政指導 操業停止	3/18-3/24 4/3-4/6 生産調整			
タイ				4/10-4/15 4/27-5/3 生産調整		5/27-6/3 6/26-6/30 生産調整
北米				3/28-4/26 ミシシッピ行政 指導操業停止		6月週末2日 生産調整
ロシア				3/28-4/19 行政指導 操業停止		
インド				3/23-4/23 行政指導 操業停止	5/3-5/17 行政指導 操業停止	

Copyright(C) THE YOKOHAMA RUBBER CO., LTD.

工場稼動状況：MB・ATG海外工場

GD 2020

■ＭＢ　中国、欧米で行政指導により一時操業を停止
現在は需要に応じて生産

	1月	2月	3月	4月	5月	6月
中国	行政指導による操業停止					
欧米			行政指導による操業停止	生産調整		

■ATG　インド工場において行政指導により一時操業を停止

インド			行政指導による操業停止	ダヘジ工場3/25-4/10 TN工場3/25~4/26		
イスラエル						

Copyright(C) THE YOKOHAMA RUBBER CO., LTD.

工場稼動状況：国内工場

GD 2020

■タイヤ　２Qにおいて生産影響 各工場で需要に応じた生産調整を実施

	1月	2月	3月	4月	5月	6月
三重						6/19-6/22 生産調整
三島					5/1,2,5/7-5/10 生産調整	6/15-6/24 生産調整
新城					4/29-5/2,5/7-5/10 23,24,30-31	6/15-6/22 生産調整
尾道					5/7,8 6/21-23　生産調整	

■ＭＢ　２Qにおいて生産影響各工場で需要に応じた生産調整を実施

国内					2-3日程度の 生産調整	

Copyright(C) THE YOKOHAMA RUBBER CO., LTD.

当社の新型コロナウイルスへの対応：上期

GD 2020

4月7日
日本国内で
緊急事態宣言

6月3日
国内での
緊急事態宣言
解除

□ 3月27日　株主総会直後、新体制下で横浜ゴム独自の「緊急事態宣言」を発令

- 感染予防のガイドラインを設定し従業員に徹底指示
- 変動費・固定費・拡販費の削減を指示
- 資金調達による流動性の確保指示

□ 4月21日　緊急事態対応プロジェクト第1段

- 在宅勤務、テレワーク、時差出勤の全社展開
- 削減額の確定、具体策の落とし込み、ステアリング会議の実施
- コミットメントライン設定

□ 5月25日　緊急事態対応プロジェクト第2段 さらなる施策を実行

- 新車需要の更なる落ち込みの顕在化
- 国内拠点の最適化を目指した再配置の検討加速
- 固定資産の売却

2020年上期経費合計90億円削減
設備投資額111億円削減

Copyright(C) THE YOKOHAMA RUBBER CO., LTD.

経営基盤の強化/財務

GD 2020

強固な財務基盤

信用格付（ＪＣＲ）：Ａ＋（安定的）

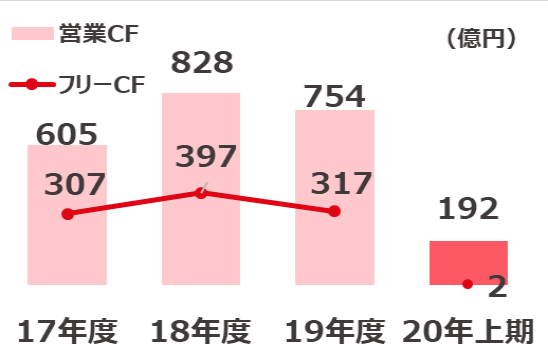
（格付日2020年7月9日：格付維持）

■ キャッシュフローの創出

20年上期：フリーCF黒字

営業ＣＦ：2,186億円
フリーＣＦ：1,021億円

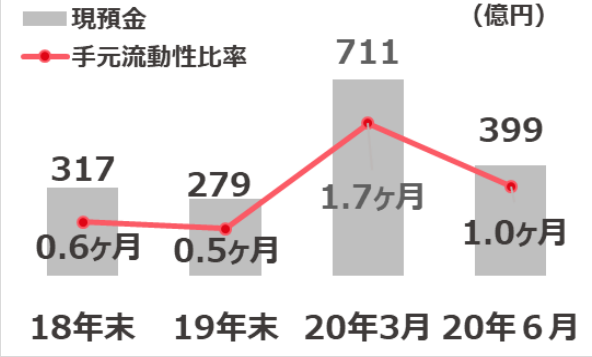
（2017-19年度合計）



■ 手元流動性

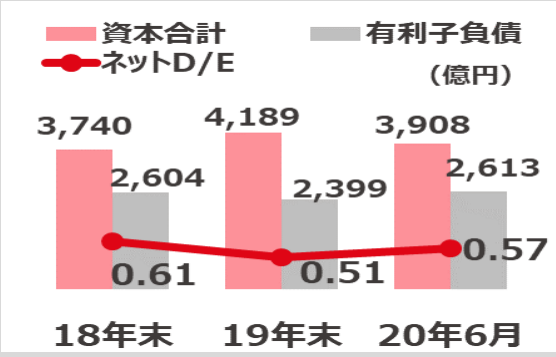
コミットメントライン：750億円
10年債起債：100億円

強固なバンクフォーメーション
金融機関との強固な取引関係



■ 強固な財務体質

ネットＤ/Ｅ：0.57倍
（2020年6月末）



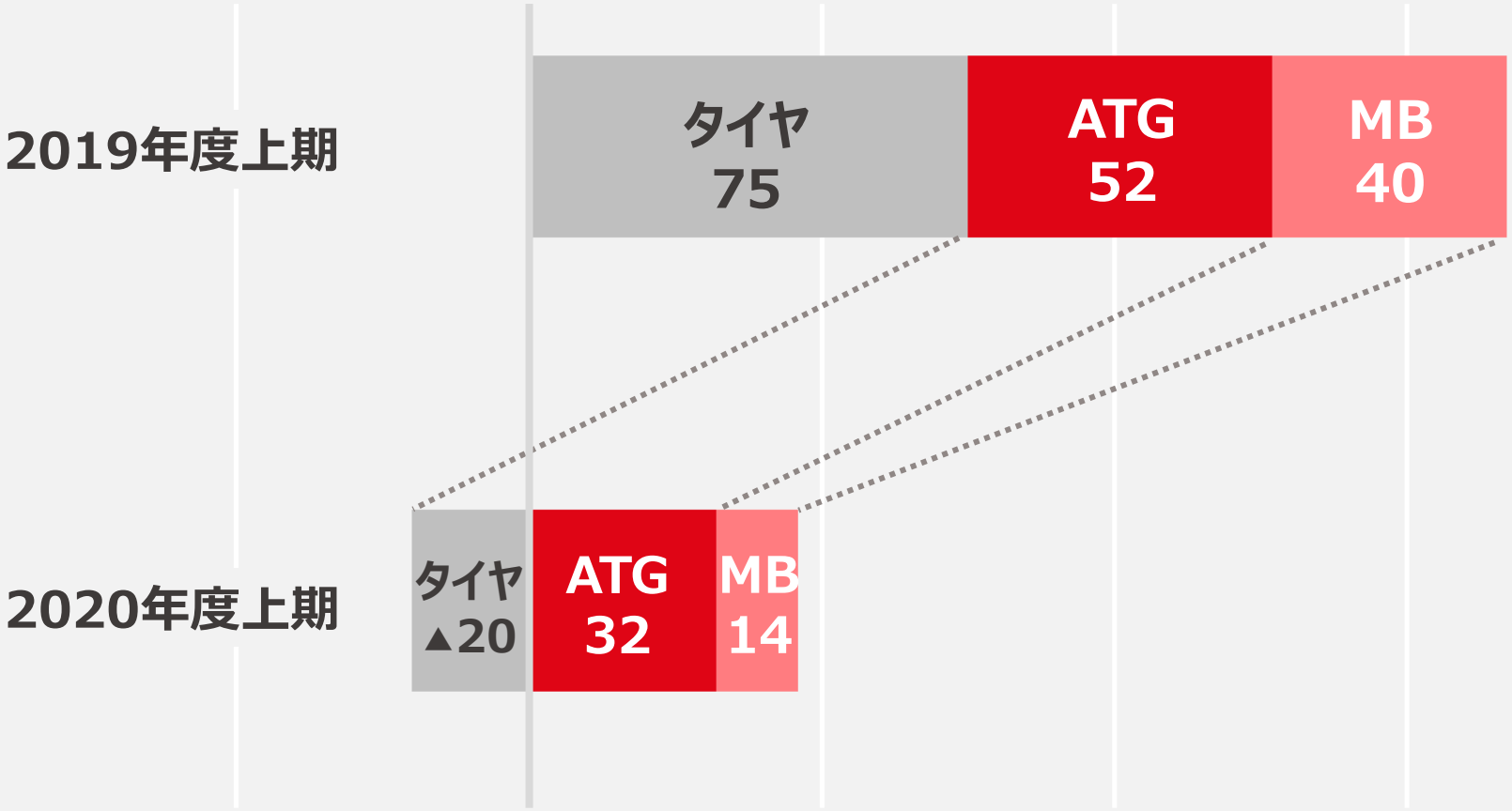
Copyright(C) THE YOKOHAMA RUBBER CO., LTD.

事業ポートフォリオによるリスク分散

GD 2020

ATG・MBが利益貢献し、コロナ禍においても黒字業績を確保

セグメント別事業利益



Copyright(C) THE YOKOHAMA RUBBER CO., LTD.

2020年度上期実績

GD 2020

（単位：億円）

	2020年 1-6月	2019年 1-6月	増減	増減率
売上収益	2,471	3,111	▲640	▲20.6%
事業利益 ※1	23	172	▲150	▲86.8%
（事業利益率）	(0.9%)	(5.5%)	(▲4.6%)	
営業利益	29	251	▲222	▲88.3%
（営業利益率）	(1.2%)	(8.1%)	(▲6.9%)	
当期利益 ※2	13	167	▲155	▲92.5%

※1 事業利益＝売上収益 － (売上原価＋販売費及び一般管理費)

※2 親会社の所有者に帰属する当期利益

Copyright(C) THE YOKOHAMA RUBBER CO., LTD.

GD2020に沿った2020年上期の活動

GD 2020

メルセデスAMG GLA 35 4MATIC

高性能・高付加価値タイヤを中心に新車装着拡大

メルセデスAMG GLE53,GLE63,GLA
BMW X3,X4　SUBARU レガシィ、アウトバック

チェルシーFCを活用した販売訴求

胸スポンサーは2020年6月をもって終了
オフィシャルグローバルタイヤパートナー契約を締結

天然ゴムの持続可能な調達実現に向けた取り組み

タイ天然ゴム公社と持続可能な天然ゴム調達のための覚書を締結、天然ゴム農園の調査を実施

Copyright(C) THE YOKOHAMA RUBBER CO., LTD.

1. 新型コロナウイルスへの対応と上期活動実績

2. 下期以降の取り組み

2020年下期の活動方針

GD 2020

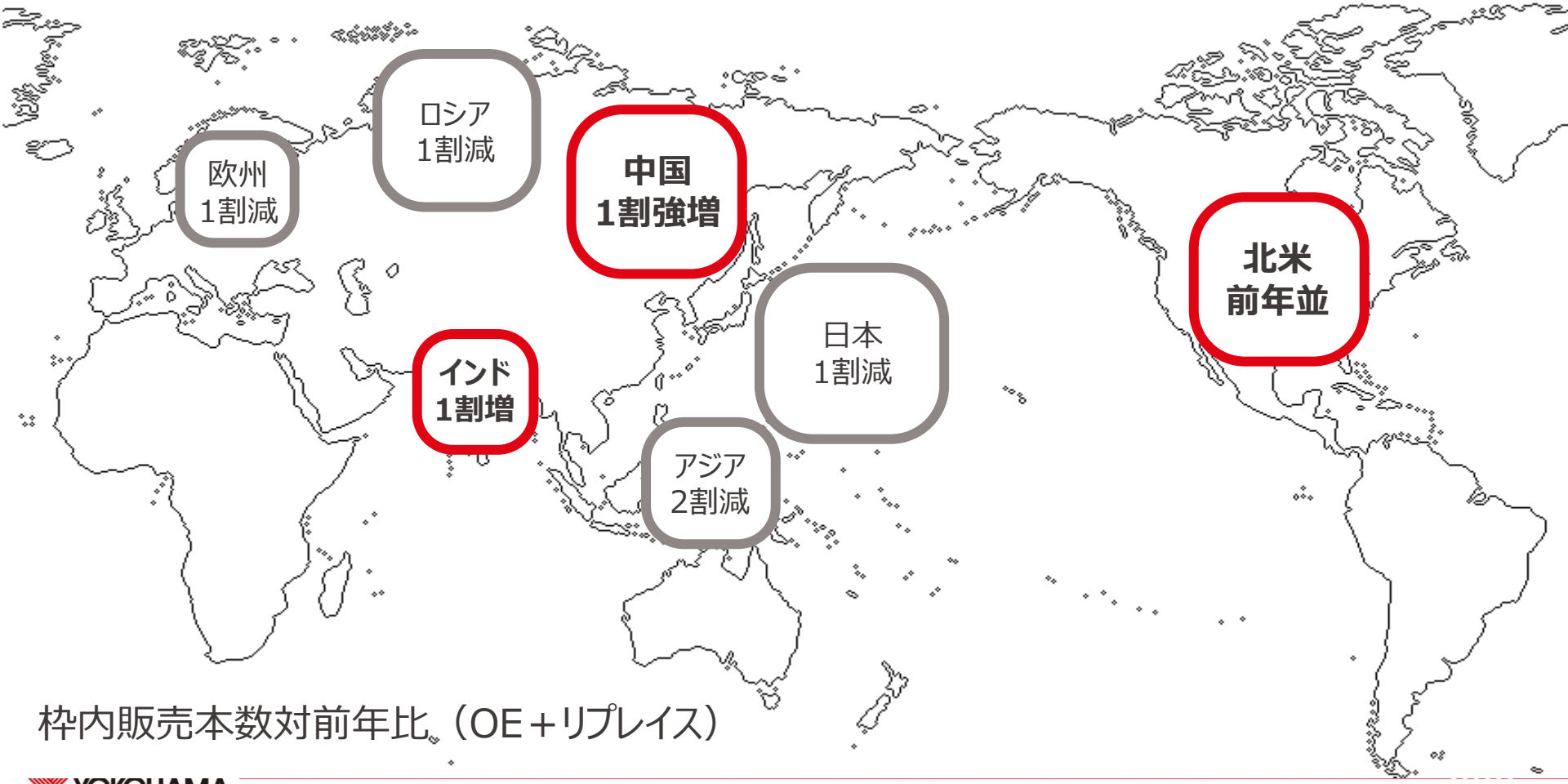
- 販売：コロナ禍においても積極的な拡販施策の展開
- 生産：柔軟に生産最適化を図り、
  グローバルでの在庫適正化を進める
- 財務：長期安定的な資金調達
  7月末に社債100億円を発行

Copyright(C) THE YOKOHAMA RUBBER CO., LTD.

2020年下期タイヤ販売について

GD 2020

日本：海外各国と比較すると市場は落ち着きを取り戻しつつある
北米：新車生産は戻りつつある
中国：新車生産は対前年でプラスに推移



枠内販売本数対前年比（OE＋リプレイス）

Copyright(C) THE YOKOHAMA RUBBER CO., LTD.

2020年下期の取り組み・タイヤ

GD 2020

ウインタータイヤの販売強化を実施

- 国内販促では女優の深田恭子さんをイメージキャラクターに起用
- オールシーズンタイヤ「BluEarth-4S AW21」のさらなる国内拡販
- ジャパンタクシー用オールシーズンタイヤの国内発売準備中（2021年）
- 欧州向けウインタータイヤ「BluEarth Winter V906」新発売

トラックバス用 超偏平シングルタイヤの積極的展開

- 北米市場での商品ラインナップ拡充
- 日本市場での超偏平シングルスタッドレスタイヤ「903W」新発売
- 三重工場での増産投資が完了、旺盛な需要に対応していく

Copyright(C) THE YOKOHAMA RUBBER CO., LTD.

2020年下期の取り組み：ATG・MB

GD 2020

ATG　力強い成長力が事業を牽引

- インド・ダヘジ工場の生産能力増強
- 商品拡充による販売の拡大

MB事業　高圧ホース「Versatran」

耐摩耗性を大幅に向上させた新カバーゴムを搭載
米国鉱山向け難燃性規格（MSHA）対応

PRGR

「RS5」シリーズ
「PRGR IRONs」新発売

Copyright(C) THE YOKOHAMA RUBBER CO., LTD.

当社の新型コロナウイルスへの対応：下期

GD 2020

下期についてもWithコロナを見据えた対応に
全社一丸となって取り組む

- 需要に応じた効率良い工場稼働
- 外部倉庫の最小化、積載効率のアップによる物流費の削減
- 販売状況に合わせた販促費、宣伝費の圧縮

下期経費80億円、設備投資額72億円の削減

2020年度年間削減合計
経費　170億円
設備投資額183億円

Copyright(C) THE YOKOHAMA RUBBER CO., LTD.

YTPI工場火災後の復旧状況

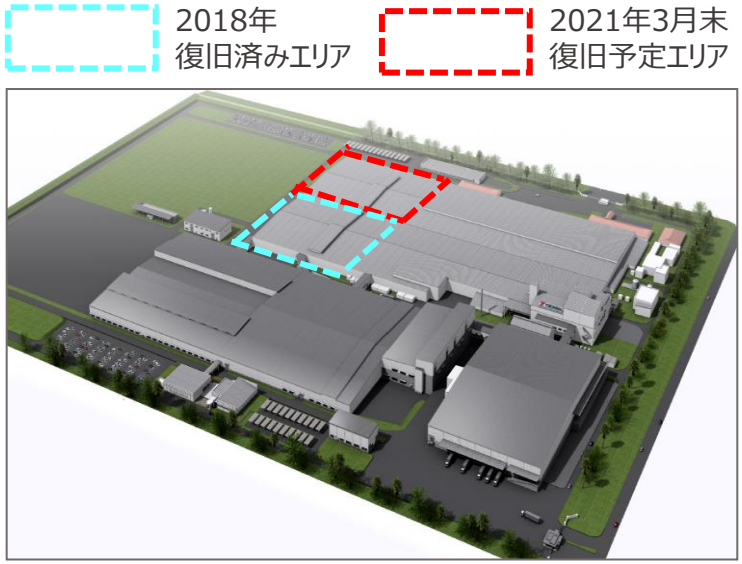
GD 2020

ヨコハマタイヤ・フィリピン（YTPI）概要

■場所　　：フィリピン、クラーク特別経済区内
■敷地面積：452,000㎡
（建屋面積：205,000㎡）

火災の概要

■発生日時：2017年5月14日 15時頃
■被災面積：東工場の北東エリア約17,400㎡
■被災内容：建屋及び生産設備の一部損傷、
倉庫内商品の焼失など



2018年末に被災した生産能力の50%が復旧完了
2020年末に被災した生産能力の100%が復旧予定
⇒生産能力の100%復旧は2021年3月末
2020年末は被災した生産能力の90%復旧予定

Copyright(C) THE YOKOHAMA RUBBER CO., LTD.

2020年間見通し

GD 2020

（単位：億円）

	20年度 通期 （予想）	19年度 通期 （実績）	前年比 増減
売上収益	5,360	6,505	▲1,145
事業利益 ※1	210	501	▲291
（事業利益率）	(3.9%)	(7.7%)	(▲3.8%)
営業利益	200	586	▲386
（営業利益率）	(3.7%)	(9.0%)	(▲5.3%)
当期利益 ※2	125	420	▲295

※1　事業利益＝売上収益 － (売上原価＋販売費及び一般管理費)
※2　親会社の所有者に帰属する当期利益

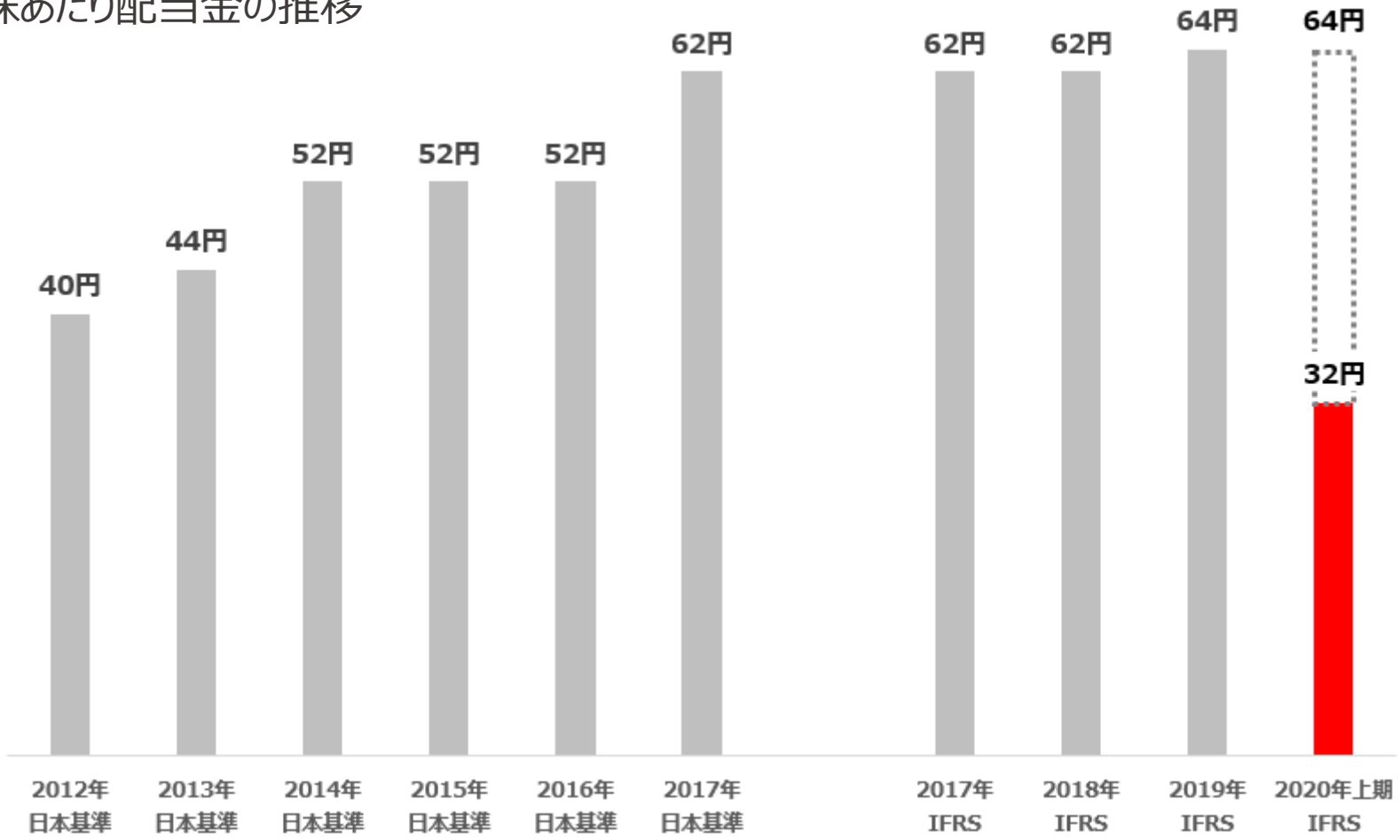
Copyright(C) THE YOKOHAMA RUBBER CO., LTD.

配当について

GD 2020

コロナ禍においても2020年2月発表のとおり中間配当32円を維持

1株あたり配当金の推移



※2015年7月1日付で、普通株式につき2株を1株とする株式併合を行っている為、2015年以前の配当金については当該株式併合が行われていたものと仮定して1株あたり配当金を記載しております。

Copyright(C) THE YOKOHAMA RUBBER CO., LTD.

YOKOHAMA

GD 2020

将来見通しに関する注意事項

この資料に含まれている将来に関する見通しや予測は、現在入手可能な情報を基に当社の経営者が判断したものです。実際の成果や業績は、さまざまなリスクや不確定な要素により、記載されている内容と異なる可能性があります。